

稲作情報(Vol.1)

令和4年6月7日
宮城県石巻農業改良普及センター
石巻地方米づくり推進本部
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/

～基本技術の徹底を～

4～5月の気象経過

- ◎ 平均気温は、4月上旬、中旬ともに平年差+0.5℃、下旬が+1.3℃と高く、5月上旬は+0.1℃、中旬は+1.0℃、下旬は+1.1℃と全体を通して気温が高くなりました。
- ◎ 日照時間は、4月は平年比117%、5月平年比113%と全体を通して多くなりました。
- ◎ 降水量は4月上旬が平年比114%と多く、4月29日にまとまった降雨がありました。5月上旬は平年比57%、中旬が44%と少なかったものの、下旬が141%と多く、5月27日にまとまった降雨がありました。

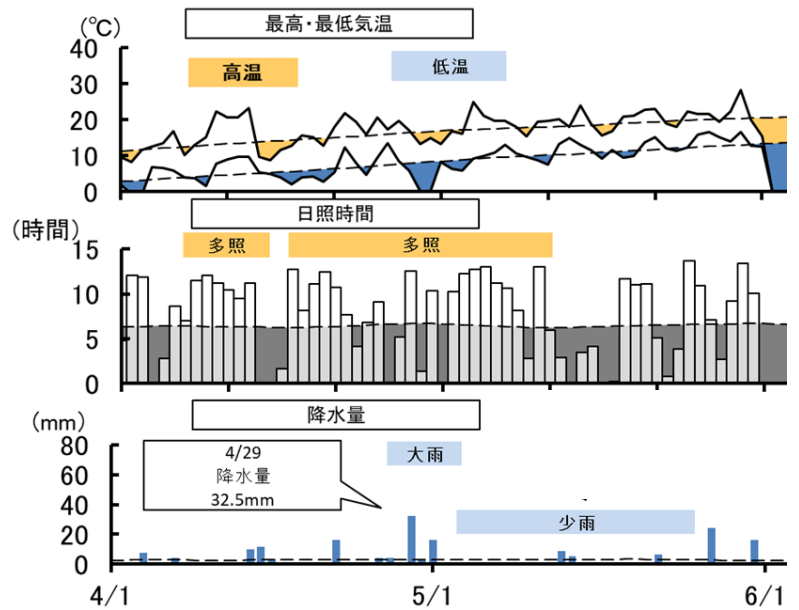


図1 4月以降の気象経過(アメダス石巻)

今後の気象経過

○低温に関する早期天候情報(東北地方) 令和4年5月30日 仙台管区气象台発表抜粋

東北地方 6月5日頃から かなりの低温

かなりの低温の基準：5日間平均気温平年差 -2.0℃以下

6月3日頃からはかなり低くなる可能性があります。気温の変動が大きい見込みです。

農作物の管理等に注意してください。また、今後の気象情報等に留意してください。

最新の気温の見通しは2週間気温予報(毎日更新)をご覧ください。



○1か月予報 令和4年5月26日 気象庁発表抜粋

向こう1か月の天候の見通し(5/28～6/27)

地域	平均気温	降水量	日照時間
北日本 太平洋側	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30 ほぼ平年並の見込み

田植概況

- ◎ 育苗期間中、平均気温の高い日が多く、田植始期は平年並みとなりました。
- ◎ 5月上旬後半から好天が続き、田植盛期は5月7日と平年より3日早くなりました。また、県全体の田植盛期は、5月10日でした（表1）。
- ◎ 田植え以降、気温の高い日や日照時間の多い日があったことから、生育はやや緩やかに進んでいます。

表1 田植えの進行状況

項目	始期	盛期	終期
	(5%)	(50%)	(95%)
石巻管内	5月2日	5月7日	5月22日
前年差	同日	同日	1日遅い
平年差	1日早い	3日早い	1日遅い
宮城県	5月3日	5月10日	5月22日
前年差	1日早い	1日早い	1日遅い
平年差	1日早い	1日早い	同日

水稻生育調査ほの生育状況(6月1日現在)

～ 草丈はやや短い、莖数はひとめぼれ、ササニシキ、金のいぶきで多く、だて正夢で少ない葉数は前年より多い傾向 ～

表2 生育調査ほの調査結果(6月1日現在)

品種	調査ほ場	移植日 (月/日)		草丈 (cm)			莖数 (本/m ²)			葉数 (枚)			
			前年差 (日)	平年差 (日)	前年比 (%)	平年比 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)	前年差 (枚)	平年差 (枚)			
ひとめぼれ	石巻広淵	5月4日	0	0	23.2	86%	95%	167	137%	138%	5.9	+0.5	-0.2
	東松島小松	5月8日	0	+2	22.6	107%	97%	128	109%	90%	5.6	+0.7	-0.2
ササニシキ	石巻寺崎	5月10日	+2	0	23.5	88%	96%	145	115%	134%	5.4	+0.8	+0.0
	石巻稲井	5月8日	0	-1	21.2	91%	95%	101	96%	101%	5.3	+1.1	+0.2
だて正夢	東松島小松	5月4日	0	-1	26.5	88%	86%	112	87%	89%	5.9	+0.3	+0.2
金のいぶき	石巻蛇田	5月5日	0	-4	23.2	74%	80%	167	113%	144%	5.9	-0.8	-0.1

注) 平年値は過去5か年の平均 移植日および葉数の前年差及び平年差の「+」は遅い、「-」は早いを表す。平年値は、だて正夢は過去5か年、金のいぶきは過去3か年の値

今後の管理(移植栽培)

1 水管理

- ◎ 活着後は、地温が最も高くなる3cm程度の浅水で管理し、分けつの発生を促しましょう。

なお、極端な低温が続くと予想される場合には、水深をできるだけ深めにし、イネを低温から保護しましょう。

- ◎ 生わらや牛ふん堆肥等の有機物を多用している水田では、気温の上昇とともに有機物の分解が盛んになり、イネに有害な硫化水素等のガスが発生しやすくなります。このような場合には、中耕や一時的に落水するなど土壌中に酸素を供給し、根の障害を防ぎましょう。

- ◎ 除草剤を使用する場合は、使用上の注意事項をよく読み、除草剤ごとに定められた使用時期、使用量及び適切な水管理に努めましょう。

2 いもち病対策 ～ 補植用残苗は直ちに処分を！～

- ◎ 県内で発生する本田いもち病の発生源のほとんどは「補植用残苗」です。補植用残苗は速やかに処分しましょう。
- ◎ 個人防除で葉いもち予防剤などを本田施用する場合は、田植時期の早い遅いにかかわらず6月15～20日頃に施用し、処理後7日間は落水しないようにしましょう。
(※JAいしのまき環境保全米及びS基準では本田でのいもち病予防剤が使用できないので注意)
- ◎ 飼料用米や直播栽培など箱処理剤を使用していないほ場では、周辺ほ場の伝染源にならないよう、いもち病予防剤による防除を行いましょう。



写真1 ほ場の補植用残苗



写真2 補植用残苗の葉いもち

3 害虫対策

- ◎ 今年のイネミズゾウムシの発生量はやや多い、発生時期はやや早い5月26日～31日頃、イネドロオイムシの発生量は平年並、発生時期は平年並みの6月11日～15日頃となっています（5月27日 県病害虫防除所発表）。
- ◎ イネミズゾウムシ、イネドロオイムシの防除対策は次のとおりです。
 - ＜箱施用剤を使用した場合＞ 本田での防除は必要なし
 - ＜箱施用剤を使用しなかった場合＞ 次の「要防除密度」により防除の実施を判断する
(※ JAいしのまき環境保全米及びS基準等では、使用できる農薬に制限があるので、ご確認ください。)

【要防除密度】

イネミズゾウムシ : けい畔際2m程度の成虫密度:100株当たり 140頭(晩期栽培は70頭)

イネドロオイムシ : 成虫密度:100株当たり25頭,
または産卵最盛期(予想6/1～5):卵塊密度:100株あたり80個

農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された適用病害虫、使用方法、最終有効年限などを確認して、定められた方法を厳守してください。

最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターホームページ<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html> で確認できます。

